

よせぎの文化を紡ぐ木づかいのまち 小田原市



親子で製材所を見学

小田原市は、城下町であり、東海道屈指の宿場町として古くから発展し、明治以降は政財界人や文化人の別荘、保養地も数多く設けられ、近代木造建築の文化遺産が残るとともに、寄木細工や漆器等に代表される木工芸の産地として、「木の文化」が息づくまちです。

全国的に見て林業の規模は小さく、大きな林産地ではないものの、一つのまちに山・川・里・海があり、マーケットにも近く、「川上」、「川中」、「川下」の人材と技術がそろっていることを強みに、近年、産学民官の連携の下、地域の森林資源を活かした「木づかいのまち」を目指して取り組んでいます。

森×海

小田原の名産品といえば、かまぼこ。水分調整の役割を担うその板の原木には、かまぼこの色や風味を損なわないよう、匂いがほとんどなく色も淡い北米産の輸入モミが使われてきました。

しかし、「豊かな海を作るのは森である」という想いから、地域の蒲鉾組合を中心に、森林組合や漁協など異業種の連携により研究を重ね、地元のスギ間伐材を板にし、地元の海で獲れた魚で作るオーロ小田原産のかまぼこが開発されました。

また、そのかまぼこ板を、今度は地元木工芸やデザイナーとのコラボにより、積木のおもちゃに商品化。森と海をつなぐ小田原ならではの木育ツールとしても

活躍しています。

木×スイーツ

戦国時代、豊臣秀吉が小田原城攻めに築いた石垣山一夜城。相模湾を一望する風光明媚な土地のそばに、日本屈指のパティシエ・鐘塚俊彦氏による農園併設型のパティスリー&レストランがオープンしました。

ここで販売される特製ロールケーキは、蒲鉾のように、間伐材ヒノキの板の上に地元産みかんジャムを使ったロールケーキが乗るスタイル。

ヒノキの香りとみかんジャムの酸味が絶妙なバランスの逸品で、地元の農業や観光産業などのコラボにより、地域の活性化とブランドの創出に一役買っている。

小田原ならではの家づくりの実証モデルの一環として製作された、地域材を活用したバンガロー



小田原市がコーディネーターとなり、木の温もりと復興の願いを込めて福島県相馬市に贈られた「木の郵便ポスト」





小田原の木づかいに関わる方々（提供：東海大学新聞）



2つの水槽に手入れた森林とそうでない森林をつくっての「緑のダム」の実験



妊婦さんや子育てママによる、



職人の手ほどきを受けながら、小田原地域伝統の「木象嵌」の技術を活かして製作体験

木×郵便 森からの手紙

製材工程で生まれる間伐材の端材を有効活用できないか。今度は、地域の郵便局などと共に、木の葉書を開発しました。

製材した板を、木工技師が1枚1枚丁寧に木の葉書に仕上げ、市内の障がい者福祉施設で印刷や包装等を行うなど、多様な担い手の連携によって製作。

温もりある木の葉書「森からの手紙」は、地域の森林の整備・保全だけでなく、地域の活性化や福祉にも貢献しています。

子ども大人も木育

小田原では、小学校などを対象にした木育授業にも力を入れています。

間伐・製材・加工という、木のものづくり一連の流れを実際に見学・体験しながら地域の産業と文化に触れ、最後に地元の木を使った工作を取り入れています。

また、親子で間伐・製材を見学・体験できるツアーや、妊婦さんや乳幼児を持つ母親を対象に地域の木を使ったおもちゃ作りなど、木に触れられる機会を多く設け、暮らしや子育ての中に木を取り入れてもらうきっかけとなるよう、「大人の木育」にも力を入れています。

よせぎの家づくり

地域の森林組合や木材組合、建築士団体や大工・建築団体に、大学などがチームとなって、地元の木を活用して設計も施工も地域の手で行う、小田原流の家づくり「よせぎの家プロジェクト」にも取り組んでいます。

思いを木に託して

東日本大震災を受けて、小田原の森林再生と被災地支援を目的に民間連携で立ち上がった「報徳の森プロジェクト」。小田原の偉人・二宮尊徳（金次郎）を通じた縁のある福島県相馬地方へ、小田原の木を活用した仮設店舗や施設の木質化、木の郵便ポストの寄贈・設置など、様々な支援協力を通じて交流が続いています。

木を寄せ、技を寄せ、人を寄せ、心を寄せる

小田原では、小さなまちだからこそ、それぞれの担い手がすぐに顔を合わせられる環境を活かし、1つ1つに物語性を持たせたプロジェクトに取り組んでいます。

「木を寄せ、技を寄せ、人を寄せ、心を寄せる」。寄木細工のまちらしい小田原ならではの魅力と木の文化をこれからも発信していきます。



小田原の森と海をつなぐオール小田原製かまぼこ(杉板使用)



小田原産ヒノキ板で美味になったロールケーキ



間伐材のかまぼこ板を木工芸とデザイナーとのコラボにより、積み木として商品化



木の葉書「森からの手紙」平成24年度間伐材利用コンクールにて林野庁長官賞受賞



卒業制作の木製校歌ボード(小田原市立町田小学校)



地域材で製作された地元高校の下駄箱